

平成 21 年度 事務事業事後評価調書（平成 20 年度事業）

整理番号 9 - 15

1 事務事業の表示

※ ■ : 該当

事務事業名		雄武町都市計画図修正印刷事業					
評価者	担当課名	建設水道課		担当係名	都市計画係		
	管理職	職名	課長		職名	係長	
		氏名	大場利昭		作成者	氏名	田原慎也
事業の概要	都市計画業務において、欠かすことのできない都市計画図及び用途地域図の定期的な修正及び印刷を行う事業であります。				全体計画 / 期間限定複数年度 (平成 20 年度～ 23 年度)		
事業費	国・道支出金			千円			
	地方債			千円			
	その他			千円			
	一般財源			800 千円			
	事業費計			800 千円			
実施方法	■ 直営		民間委託	その他 ( )			
第 5 期 総合計画 (前期)		■ 登載事業		非登載事業	優先度	B	
事業の位置付け	政策目標	4 うるおい・雄武～生活環境・生活基盤の充実～					
	基本施策	18 住環境の整備					
	単位施策	4 都市計画の推進					
	事務事業の種類	■ 自治事務		法定受託事務			
	その他計画・根拠等						
事業費	実施年度	20年度(実績)	21年度(見込)	22年度(計画)	23年度(計画)	24年度(計画)	
	国・道支出金	千円	千円	千円	千円	千円	
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円	
	その他財源	千円	千円	千円	千円	千円	
	雄武町負担額 (一般財源)	400 千円	千円	千円	400 千円	千円	
	合計	400 千円	千円	千円	400 千円	千円	

2 事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民。	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)				
【抱える課題やニーズは】	現況にあった都市計画図及び用途地域図の情報を提供できない。	都市計画図・用途地域図修正印刷枚数				
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	道路や主な建築物等の新設、変更等に対して、現況と合った都市計画図及び用途地域図となることを目指す。	① 印刷枚数/印刷部数の実績	指標(指標計算式/解説)			目標年度 20年度
			目標値及び実績値			目標値 50 枚/各
						実績値 50 枚/各
						達成度 100.0 %
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	道路や主な建築物等の新築、変更等に対する修正を実施することで現況と合った図面となる。	②	目標年度			目標値
						実績値
						達成度 %
内 容(どのような手段で何を行ったか)						
民間業者による修正・印刷の実施	民間業者に依頼し都市計画図及び用途地域図の修正、印刷を実施した。					

### 3 事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要 必要／概ね必要／ 課題あり	<input type="checkbox"/> 義務的なもの	現況にあった都市計画図並びに用途地域図の定期的な修正を行う必要がある。当該事業を実施しない場合は、正確な情報が提供できなくなる。
	<input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効 有効／概ね有効／ 課題あり	設定した目標値の達成状況	道路や建築物において新設、変更等となっている箇所を修正を行い現況に合った都市計画図及び用途地域図となった。
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

概ね効率的 効率的／概ね効率的／ 課題あり	判断の理由	道路や建築物の平面図等を提供したことにより事業費の抑制、時間短縮等の軽減が図られた。
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員削減 <input checked="" type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平 公平／概ね公平／ 公平でない	判断の理由	都市計画図及び用途地域図を必要としている利用者に有償にて提供していることは、公平であると考慮する。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある <input type="checkbox"/> 受益者負担がない <input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input checked="" type="checkbox"/> その他	

### 4 総合評価【A～D】

- A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等  
 B:ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要 等  
 C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等  
 D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
<b>A</b> 現況にあった都市計画図並びに用途地域図の情報提供をするためには必要な事業であり、今後も計画通り事業を進めることが適当と判断する。		



継続／現状維持		
現況にあった都市計画図並びに用途地域図の情報提供をするためには現状維持が適当である。		

\*展開方向の区分

- 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更     終了     休止     廃止

### 5 その他特記事項 (アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

--

平成 21 年度 事務事業事後評価調書 (平成 20 年度事業)

整理番号 9 - 16

1 事務事業の表示

※ ■ : 該当

事務事業名	公園維持管理事業					
評価者	担当課名	建設水道課		担当係名	都市計画係	
	管理職	職名	課長	作成者	職名	係長
		氏名	大場利昭		氏名	田原慎也
事業の概要	公園等の利用者が、憩いの場として、楽しく安全に利用してもらうため、公園施設等の草刈り、清掃を行う事業であります。				全体計画 (平成 20 年度～ 24 年度)	
					国・道支出金	千円
					地方債	千円
					その他	千円
					一般財源	25,100 千円
					事業費計	25,100 千円
実施方法	■ 直営	民間委託		その他 ( )		
第 5 期 総合計画 (前期)	■ 登載事業	非登載事業		優先度	B	
事業の位置付け	政策目標	4 うるおい・雄武～生活環境・生活基盤の充実～				
	基本施策	18 住環境の整備				
	単 位 施 策	3 公園・緑地の充実				
	事務事業の種類	■ 自治事務	法定受託事務			
	その他計画・根拠等					
事業費	実施年度	20年度(実績)	21年度(見込)	22年度(計画)	23年度(計画)	24年度(計画)
	国・道支出金	千円	千円	千円	千円	千円
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	千円	千円	千円
	雄武町負担額 (一般財源)	4,721 千円	5,000 千円	5,020 千円	5,020 千円	5,020 千円
	合 計	4721 千円	5000 千円	5020 千円	5020 千円	5020 千円

2 事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	公園等の利用者	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)			
【抱える課題やニーズは】	公園環境の悪化。	公園等施設数			
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	公園等の利用者が安全に利用できる公園施設を目指す。	① 公園等施設数/維持管理公園数の実績	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
			目標年度	20年度	
			目標値	11 施設	
			実績値	11 施設	
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	公園等の利用者が楽しく安心して利用できる公園施設が図られる。	②	達成度	100.0 %	
			目標年度		
			目標値		
			実績値		
			達成度	%	
内 容(どのような手段で何を行ったか)					
民間委託による委託の実施	民間業者の入札により、公園等の草刈、清掃を委託した。				

### 3 事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要 必要／概ね必要／ 課題あり	<input type="checkbox"/> 義務的なもの	公園等の利用者が安心して利用してもらうためには、草刈、清掃の実施は欠くことのできないものであり、町で維持していくことは必要不可欠である。当該事業を実施しない場合は、安全性の確保ができない。
	<input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効 有効／概ね有効／ 課題あり	設定した目標値の達成状況	当該事業を実施したことにより、公園等利用者の安全な利用が図られた。
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

概ね効率的 効率的／概ね効率的／ 課題あり	判断の理由	他所管施設と一括発注としており、経費の軽減が図られた。
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員削減 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平 公平／概ね公平／ 公平でない	判断の理由	誰もが利用できるよう定期的な維持管理を行う。
	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担がある <input type="checkbox"/> 受益者負担がない <input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input type="checkbox"/> その他	

### 4 総合評価【A～D】

- A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等  
 B:ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要 等  
 C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等  
 D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
<b>A</b> 公園等利用者の憩いの場として安全で楽しく利用してもらうため、また、豊かな緑地が存在する公園等を保全するためにも必要不可欠であり、今後も計画通り事業を進めることが適当と判断		



継続／現状維持		
公園等の利用者が安全で楽しく利用してもらうため、また、公園等の緑地を保全するためにも現状維持が適当である。		

\*展開方向の区分

- 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更     終了     休止     廃止

### 5 その他特記事項 (アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

--

平成 21 年度 事務事業事後評価調書 (平成 20 年度事業)

整理番号 9 - 17

1 事務事業の表示

※ ■ : 該当

事務事業名							公園等施設遊具修繕事業									
評価者		担当課名		建設水道課		担当係名		都市計画係								
		管理職		職名		課長		作成者		職名		係長				
				氏名		大場利昭				氏名		田原慎也				
事業の概要		公園等の遊具利用者の事故を未然に防止するために遊具の修繕を行う事業であります。					全体計画 (平成 20 年度～ 24 年度)									
							事業費		国・道支出金		千円		地方債		千円	
									その他		千円		一般財源		7,400 千円	
									事業費計		7,400 千円					
実施方法		■ 直営		民間委託		その他 ( )										
第 5 期 総合計画 (前期)		■ 登載事業		非登載事業		優先度		B								
事業の位置付け		政策目標		4 うるおい・雄武～生活環境・生活基盤の充実～												
		基本施策		18 住環境の整備												
		単位施策		3 公園・緑地の充実												
		事務事業の種類		■ 自治事務		法定受託事務										
		その他計画・根拠等														
事業費		実施年度		20年度(実績)		21年度(見込)		22年度(計画)		23年度(計画)		24年度(計画)				
		国・道支出金		千円		千円		千円		千円		千円				
		地方債		千円		千円		千円		千円		千円				
		その他財源		千円		千円		千円		千円		千円				
		雄武町負担額 (一般財源)		588 千円		5,000 千円		600 千円		600 千円		600 千円				
		合計		588 千円		5000 千円		600 千円		600 千円		600 千円				

2 事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	公園等の利用者	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)				
【抱える課題やニーズは】	遊具利用者の事故。	修繕遊具数				
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	公園等の利用者が安全に利用できる公園施設を目指す。	指標(指標計算式/解説)		目標値及び実績値		
		① 修繕遊具数/修繕遊具数の実績		目標年度	20年度	
				目標値	5 基	
				実績値	5 基	
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	公園等の利用者が楽しく安心して利用できる公園施設が図られる。			達成度	100.0 %	
		②		目標年度		
				目標値		
				実績値		
		達成度	%			
内 容(どのような手段で何を行ったか)						
民間業者による工事の実施	(社)日本公園施設業協会認定業者の見積合せにより、工事を発注し公園遊具の修繕を実施した。					

### 3 事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要 必要／概ね必要／課題あり	<input type="checkbox"/> 義務的なもの	公園等の利用者が安心して利用してもらうためには、遊具の修繕等は欠くことのできないものであり、町で維持していくことは必要不可欠である。当該事業を実施しない場合は、安全性の確保ができない。
	<input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効 有効／概ね有効／課題あり	設定した目標値の達成状況	当該事業を実施したことにより、公園等利用者の安全な利用が図られた。
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

概ね効率的 効率的／概ね効率的／課題あり	判断の理由	他所管施設と一括発注としており、経費の軽減が図られた。
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員削減 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平 公平／概ね公平／公平でない	判断の理由	誰もが利用できるよう遊具の修繕を行う。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担がない <input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input type="checkbox"/> その他	

### 4 総合評価【A～D】

- A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等  
 B:ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要 等  
 C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等  
 D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A 公園等利用者の憩いの場として安全で楽しく利用してもらうためには遊具の修繕は必要不可欠であり、今後も計画通り事業を進めることが適当と判断する。		

今後の展開方向  
(Action)

継続／現状維持 公園等の利用者が安全で楽しく利用してもらうためには現状維持が適当である。		
---	--	--

\*展開方向の区分

- 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更     終了     休止     廃止

### 5 その他特記事項 (アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

--

平成 21 年度 事務事業事後評価調書 (平成 20 年度事業)

整理番号 9 - 18

1 事務事業の表示

※ ■ : 該当

事務事業名	雄武町都市対策事業					
評価者	担当課名		建設水道課	担当係名		都市計画係
	管理職	職名	課長	作成者	職名	係長
		氏名	大場利昭		氏名	田原慎也
事業の概要	北海道により実施されるオコツナイ川・ポンオコツナイ川整備に伴う北海道との協議、打ち合わせ、また、河川整備に伴う雄武町管理施設工作物(橋梁、道路等)の整備及び地積測量を行うための事業であります。				全体計画 (平成 20 年度～ 24 年度) 国・道支出金 402,000 千円 地方債 千円 その他 千円 一般財源 9,700 千円 事業費計 411,700 千円	
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営	<input type="checkbox"/> 民間委託		<input type="checkbox"/> その他 ( )		
第 5 期 総合計画 (前期)		<input checked="" type="checkbox"/> 登載事業	<input type="checkbox"/> 非登載事業	優先度	A	
事業の位置付け	政策目標	5 ささえあい・雄武～協働によるまちづくりの推進				
	基本施策	22 住民主体のまちづくりの推進				
	単 位 施 策	3 住民との協働体制の構築				
	事務事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務		<input type="checkbox"/> 法定受託事務		
	その他計画・根拠等					
事業費	実施年度	20年度(実績)	21年度(見込)	22年度(計画)	23年度(計画)	24年度(計画)
	国・道支出金	18,360 千円	21,000 千円	222,000 千円	36,000 千円	96,000 千円
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	千円	千円	千円
	雄武町負担額 (一般財源)	8,509 千円	200 千円	200 千円	200 千円	200 千円
	合 計	26869 千円	21200 千円	222200 千円	36200 千円	96200 千円

2 事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民・河川	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)				
【抱える課題やニーズは】	河川の氾濫	整備河川数				
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	安全で災害に強い河川整備を目指す。	① 整備河川数/整備河川数に実績	指標(指標計算式/解説)			目標年度 20年度
			目標値及び実績値			目標値 2 河川
						実績値 2 河川
						達成度 100.0 %
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	地域住民が安全に暮らせる災害に強い河川整備が確保される。	②	目標年度			目標年度
			目標値			目標値
			実績値			実績値
			達成度			達成度 %
内 容(どのような手段で何を行ったか)						
北海道との協議、打ち合わせ	オコツナイ川、ポンオコツナイ川に係る河川整備について、網走土木現業所興部出張所と協議、打ち合わせを行った。					
民間業者による委託の実施	民間業者の入札により、道路・橋梁の実施設計及び地籍調査を委託した。					



### 3 事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要 必要／概ね必要／ 課題あり	<input type="checkbox"/> 義務的なもの	地域住民が安全に暮らせる災害に強い河川整備を行うためには、 欠くことのできない事業である。当該事業を実施しない場合は、河川 流域住民の安全性の確保ができなくなる。
	<input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効 有効／概ね有効／ 課題あり	設定した目標値の達成 状況	当該事業を実施したことにより実施計画及び地積測量が取り纏 まった。
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

概ね効率的 効率的／概ね効率的 ／課題あり	判断の理由	入札により事業費が抑制された。
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員削減 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input type="checkbox"/> その他	

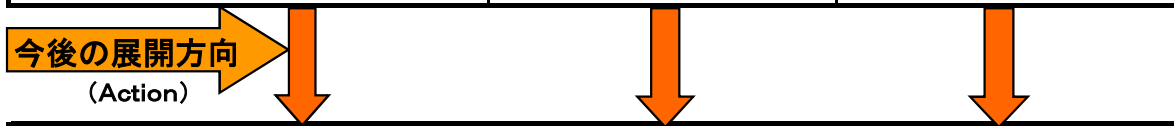
(4)事務事業の公平性

概ね公平 公平／概ね公平／ 公平でない	判断の理由	地域住民が安全に暮らせる災害に強い河川整備を行うことは、概 ね公平であると考えられる。
	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担がある <input type="checkbox"/> 受益者負担がない <input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input type="checkbox"/> その他	

### 4 総合評価【A～D】

- A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等  
 B:ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要 等  
 C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等  
 D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
<b>A</b> 地域住民が安全に暮らせる災害に強い河川 整備を行うためには、欠くことのできない事業 であり、今後も計画通り事業を進めることが適 当と判断する。		



継続／現状維持		
北海道により実施されている事業であるた め、継続、現状維持が適当である。		

\*展開方向の区分

- 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更 ○ 終了 ○ 休止 ○ 廃止

### 5 その他特記事項 (アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

--